

## 2015（平成27）年度 学会活動報告

- 2015年6月27日(土) 2名の報告者を迎えて、第10回例会を筑波大学東京キャンパスで開催する。
- (1) 小野 智一（東京福祉大学）  
公民科教育におけるグローバル・ガバナンス論の現在  
—ESD および公民科教育の課題—
  - (2) 小林 岳人（千葉県立松戸国際高等学校）  
地図学習とオリエンテーリング
- 2015年9月2日(水) 「会報」第83号を発行する。
- 2015年11月12日(日) 中等社会科教育学会第34回研究大会を大正大学で開催する。
- 2016年3月31日(木) 『中等社会科教育研究』第34号を発行する。

## 2016（平成28）年度 学会活動計画

- 2016年6月26日(日) 2名の報告者を迎えて、第11回例会を筑波大学教育大会議室で開催する。
- (1) 齋藤 慶子（日本女子大学）  
社会科歴史教材としての「女子史」の可能性
  - (2) 福元 千鶴（筑波大学附属高等学校）  
倫理の授業で政治を考える
- 2016年9月27日(火) 「会報」第84号を発行する。
- 2016年11月20日(日) 中等社会科教育学会第35回研究大会を筑波大学東京キャンパスで開催する。
- 2017年3月31日(金) 『中等社会科教育研究』第35号を発行する。

## 授業実践研究部会の活動記録

第31回全国研究大会総会（2012年11月3日）において、出席者の賛同を得て、授業実践研究部会が発足いたしました。

2016年度の当部会の活動について、下記の通り報告いたします。

- ・第11回例会 参加者：26名  
期日：平成28年7月16日（土） 東洋大学白山キャンパス  
内容：①研究実践発表  
泉 貴久氏（専修大学松戸高等学校／筑波大学大学院人間総合科学研究科）  
「高等学校地理における『日本のエネルギー政策』をテーマとした授業実践—価値判断・意思決定のプロセスを通して—」  
②情報交換
  
- ・第12回例会 参加者：27名  
期日：平成28年10月22日（土） 東洋大学白山キャンパス  
内容：①研究実践発表  
須賀 忠芳氏（東洋大学）  
「歴史教育の存立基盤としての歴史事実の探究と『ケア（配慮）』の相克をめぐって」  
②情報交換  
問題提起者：斎藤 隆宏氏（千葉県立野田中央高等学校）
  
- ・第13回例会 参加者：32名  
期日：平成28年12月23日（金、祝） 東洋大学白山キャンパス  
内容：①研究実践発表  
金子 幹夫氏（神奈川県立平塚農業高等学校初声分校）  
杉田 孝之氏（千葉県立津田沼高等学校）  
「経済の基礎概念から設計する有権者教育」  
②情報交換  
問題提起者：片岡比奈子氏（科学技術学園高等学校）

当部会の開催告知については、主に、学会HP上で行います。会員の皆様には、当部会の趣旨を御理解いただき、当会企画の会合等に、積極的に御参加下さい。

【事務局より】本学会では上記、授業実践研究部会のような部会活動を支援しており、部会運営費として年に2万円を支給しております。新たに部会立ち上げを希望される場合は事務局までご相談ください。

## 事務局便り

### 1. 2017 年度の行事日程（予定）

2017 年度の行事は以下の日程で行なう予定です。詳細は、随時 HP (<http://www.chuusha.jp/>) の掲示板などでご案内いたします。多くの会員のご参加をお願いいたします。

#### 【例会予定日】

2017 年 6 月 17 日（土） 14 時開始 筑波大学教育研究科棟 2 階

#### 【全国研究大会予定日】

2017 年 11 月 23 日（祝・木） 10 時開始 筑波大学東京キャンパス

### 2. 中等社会科教育学会会員執筆による本の刊行『中等社会科 21 世紀型の授業実践』（学事出版）

2015 年に中等社会科教育学会の会員執筆による本が刊行されました。中学校社会科、高等学校・大学の地歴科・公民科に関わる最新の授業実践を掲載しております。詳細は学会 HP をご覧ください。会員の方には 2 割引きで販売いたします。

### 3. 学会費納入のお願い

2016 年度の学会費振込用紙を同封いたしましたので会員の皆様の納入をお願いいたします。学会費は当学会の唯一の財源です。どうぞよろしく申し上げます。会費未納の場合には、学会誌の送付を一時停止しますことを予めご了承ください。振込番号や名義、会費は以下のとおりです。

振替番号：00350-4-7442 名義：中等社会科教育学会 会費 3,000 円

### 4. 住所変更のお願い

毎年、事務局からお送りした案内や連絡等がかなり戻ってきます。住所変更などがありましたら、お早目に事務局宛にメールでお知らせください。

#### 【中等社会科教育学会事務局】

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学人間系社会科教育学研究室 中等社会科教育学会事務局 宛

<http://www.chuusha.jp/>

Mail : [chuushagaku@yahoo.co.jp](mailto:chuushagaku@yahoo.co.jp)

## 2016 - 2017 年度 中等社会科教育学会役員

任期：2016年（平成28）年4月1日～2018年（平成30）年3月31日

会 長 桑原 直己

副会長 井田 仁康

事務局 唐木 清志 國分 麻里

学会誌編集委員（◎は委員長，○は事務）

◎井田 仁康	大野 新	鎌田 和宏	川崎 誠司	栗原 久
須賀 忠芳	寺本 誠	丹治 達義	○中村 光貴	野口 剛
藤本 和哉	谷田部玲生	山口 泰宏		

評議員

渥美 利文	飯島 睦子	石本由布子	井門 正美	茨木 智志
大野 新	小野 智一	加藤 公明	熊田 禎介	栗原 久
今野日出晴	佐藤 秀樹	須賀 忠芳	杉浦 正和	田尻 信壹
高橋 健司	外池 智	中切 正人	草間真智子	宮菌 衛
森岡 孝文	山根 栄次	若生 剛		

理 事

井田 仁康	伊藤 純郎	江口 勇治	鎌田 和宏	唐木 清志
川崎 誠司	木村 勝彦	齋藤 慶子	佐藤 公	杉田 孝之
多田 知子	丹治 達義	寺本 誠	野口 剛	華井 裕隆
藤本 和哉	真柴 晶彦	三橋 浩志	谷田部玲生	山口 泰宏
山田 美保	山本 栄一			

学生幹事（○は総務）

○門井 謙允	香取 秀城	田村 巧	南波 純
荒貴 竜斗	滝沢 康紀	羽賀 翠	福田 誠

顧 問

横山十四男 篠原 昭雄 谷川 彰英

### 【編集規定】

- (1) 本誌は中等社会科教育学会の機関誌である。
- (2) 本誌は年1回発行するものとする。
- (3) 本誌は本学会の会員の研究およびそれに資する情報の発表の場である。
- (4) 本誌の編集は本学会の編集委員会が担当する。
- (5) 本誌に掲載する原稿は、すべて編集委員会を経由しなければならない。
- (6) 本誌に掲載する原稿の採否は、レフリーの審査を経た後に委員会が決定する。
- (7) 本誌に掲載する原稿について、編集委員会は執筆者に内容の変更を要求できる。
- (8) 本誌に掲載することが編集委員会において決定した原稿・電子媒体（CD等）は返却しない。
- (9) 本誌に掲載する原稿の執筆者による校正は第1校までとする。その後の校正は編集委員会が行う。
- (10) 本誌に掲載された論文・記事等の抜刷は執筆者の希望によって作製するが、その作製費・輸送費はすべて執筆者が負担するものとする。
- (11) 本誌に掲載する原稿の図版等で、特別の経費を必要とするものについては、執筆者が負担するものとする。

### 【執筆要領】

- (1) この機関誌への投稿は、本学会の会員に限られる。非会員と連名での投稿の際は、非会員の場合は入会手続きを取らなければならない。ただし、編集委員会からの依頼原稿の場合は、この限りではない。
- (2) この機関誌への投稿原稿は、未発表のものに限られる。ただし、口頭で発表したものや私的に配布した印刷物の場合は、この限りではない。
- (3) 投稿は以下のものである。

研究論文	社会科教育の歴史・理論および海外の事例などについての研究 1,200字×17枚程度
実践論文	学校教育・社会教育などでの自らの社会科教育の実践をふまえた授業研究 1,200字×14枚程度
研究ノート	社会科教育の歴史・理論・事例研究や提言 1,200字×10枚程度
授業レポート	社会科の授業や展示の実践紹介 1,200字×3枚程度
社会科教育情報	社会科教育に関連した有益な情報の提供 1,200字×2枚程度
書評	社会科教育に関連した書籍の批評 1,200字×2枚程度
図書紹介	社会科教育に関連した書籍の紹介 400字程度

- (4) 投稿原稿の本文は必ず一太郎かWordを使って作成する。その際にA4判で横書き、40字×30行でページ設定する。手書き原稿は受理しない。
- (5) 投稿原稿は完全成稿とし、打ち出し原稿には図表も貼付する。また、必ず英文タイトルも付ける。
- (6) 投稿の際は、打ち出し原稿3部を編集委員会宛に送付する。掲載が決定した場合は、電子媒体（CD等）でデータを提出する。
- (7) 投稿の際には、必ず執筆者の名前・よみがな・所属（職名その他をふくむ）・連絡先（郵便番号・住所・電話番号・電子アドレス）を明記する。
- (8) 投稿のあて先は以下の通りである。

〒112-0012 東京都文京区大塚1-9-1 筑波大学附属高等学校

中村 光貴 メールアドレス：mnakamur@high-s.tsukuba.ac.jp

- (9) 投稿を希望する者は、投稿者氏名及び所属、タイトル（仮題可）、連絡先（電話／メールアドレス）を、7月末日までに上記あて先まで事前に連絡をする。
- (10) 投稿の提出締め切りは、9月15日とする。

## 編集後記

『中等社会科教育研究』第35号をお届けします。会員の皆様には、多くの論稿を投稿していただきありがとうございました。投稿いただいたことに感謝します。

本号はおかげさまで、研究論文2本、実践に基づいた論稿である実践論文1本、研究ノート2本、社会科教育情報が2本、書評1本と充実した内容となっており、会員の皆様の活発な研究の場となっているのではないかと考えます。これも会員の皆様の研究に対する熱い情熱の賜物と思っております。今後とも、多くの投稿をよろしく願います。

本号からはシンポの論稿については、特に特集とせず、パネリストの皆様の負担を減らすこととしました。一方で、シンポでの発表を論稿としてまとめていただける会員には、厳格な査読を経て、掲載させていただいています。シンポでの発表、研究発表された研究にかかわらず、投稿された研究論文、実践論文、研究ノート、授業実践も厳格な査読をした論稿であり、会員皆様の重要な業績、研究の証となっています。査読者とも何回かのやりとりをしながら、よりよい論稿になったのではないかと思います。査読していただき、貴重なコメントをいただいた先生方、根気強く修正に応じていただいた執筆者の皆様にあらためて感謝いたします。このような根気のいる査読制度は、個人の研究能力を高めるだけでなく、学会全体の研究レベルを上げるうえでも、大変貴重です。これにこりず、今後ともよろしく願います。

本号の編集事務は、筑波大学附属高等学校の中村光貴先生に担当していただきました。年度末に確実に本誌が皆様のお手元に届くよう、原稿の締め切りを調整していただき、執筆者と査読者との間にはいりご苦労されただけでなく、入稿、発送作業など様々な編集にかかわる事務をこなしていただきました。厚く御礼申し上げます。会員の皆様にも、そのことを是非ご理解していただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

『中等社会科教育研究』は、今後とも皆様の研究成果を迅速に発表できる場にしたいと考えております。会員皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

(井田 仁康)

## 編集委員会

委員長	井田 仁康 (筑波大学)
委員	大野 新 (筑波大学附属駒場中・高等学校)
	鎌田 和宏 (帝京大学)
	川崎 誠司 (東京学芸大学)
	栗原 久 (東洋大学)
	須賀 忠芳 (東洋大学)
	寺本 誠 (お茶の水女子大学附属中学校)
	丹治 達義 (筑波大学附属視覚特別支援学校)
	中村 光貴 (筑波大学附属高等学校)
	野口 剛 (帝京大学)
	藤本 和哉 (筑波大学附属高等学校)
	谷田部玲生 (桐蔭横浜大学)
	山口 泰宏 (筑波大学附属中学校)